



市来農芸
だより

楽しかった

修学旅行



1月24日(火)から27日(金)まで、2年生が3泊4日で東京・千葉・栃木へ修学旅行に行きました。



は初めての体験でしたが、天候にも恵まれ、みんな滑れるようになりました。デイズニードではアトラクションやパレード、花火などの夢の国を十分に楽しみました。集団行動がとりわけ求められる修学旅行ですが、子どもたちはきちんと時間を守り、4日間過ごすことができました。



してこの旅行でお世話になりました。深くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

第 170 号

平成 29 年 2 月 1 日
編集・発行
市来農芸高校広報係
いちき串木野市湊町 160
Tel (0996) 36-2341
発行責任者
校長 本村 信一

生徒の感想より

いま修学旅行を振り返ってみるといろいろな体験や経験ができたような気がします。1日目は空港に行き、私は初めて飛行機に乗ったのですごく緊張しました。2日目はスキー教室でした。最初はインストラクターの先生がいうことに精一杯でした。でも最後にインストラクターの先生に「うまく滑れるようになったね。」と言われてうれしかったです。

(徳永 深里)

今回の修学旅行では、日光に初めて行きました。自分今まで体験したことがないような寒さの中で、初めてスキーを体験しました。最初はなかなか滑ることができませんでした。滑れるようになって楽しかったです。この3泊4日の間、

何よりもクラスのおみやげを楽しく過ごせました。良かったです。(松元 綾乃) 私が今回の



修学旅行で一番心に残った思い出はスキーです。栃木であんなにたくさん滑った雪を見たのは生まれて初めてで、雪のサラサラとした感じが楽しくて、寒さも忘れていました。ですがやっぱり鹿児島に帰ってくるのかなどかほつとしました。そしてなによりも、自分たちが修学旅行に行くまでにはたくさんの人の支えがあって、どこに行くにしても助けられながらの修学旅行だったんだと思います。人との出会いに感謝しながら、修学旅行での経験をこれから活かしていきたいです。

(松木 美樹)

入賞おめでとう

第19回長塚節文学賞

(俳句部門)

入賞 農業経営科2年

小林 良介 (中之島中)

太陽を指し伸びゆく今年竹

入賞 農業経営科2年

松崎 咲千佳 (串木野中)

縁側に猫と寝転ぶ春の昼

入賞 農業経営科2年

坂下 綾菜 (川内南中)

摘むたびに籠を転がる

ミニトマト

他 入賞 21名

第59回県児童生徒

作文コンクール

特選 生物工学科3年

船迫由佳子 (東谷山中)

「私の使命」

特選 農業経営科2年

小林良介 (中之島中)

「消えゆく盆踊り」

入選 生活科1年

来亜弥香 (皇徳寺中)

「これまでの私、今の私」

若武者育成塾

(松本 凜)

12月16日(金)に「日本の環境を守る 若武者育成塾」の成果発表会についての取材がありました。

この若武者育成塾では、生物工学科1年の松本凜さんと山口あやめさん(谷山北中)が「ツバキプロジェクト」として、ツバキを利用した消臭効果についてのプロジェクトに取り組んでおり、この度オリジナリテイ賞を受賞しました。



生徒の感想

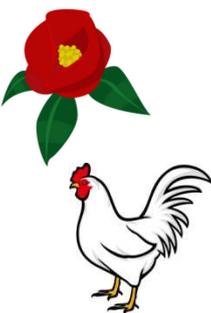
私はプロジェクトで家畜の臭いという、日々私たちが実習をしていて気になることを解決しようという課題に取り組んでいます。家畜臭は農家の人が考える問題です。ですが、「気になる」という意見の大半は周囲の人々です。農家の人は臭いに対していやな気持ちを抱くことがあまりなく、対策をしていない人がほとんどです。なので、私たちは消臭効果のあるツバキをより多くの農家さんに植えてもらいたいと思います。日々プロジェクトに取り組んでいます。

(松本 凜)

私はプロジェクト活動を通して、農家や家畜を飼育している方の問題を知りました。非農家の私は、家畜臭というものに関わりがなかったのですが、様々な問題があることに驚きました。

若武者育成塾では自分たちの研究を評価していただきました。これからも研究活動を続けて、自分たちのものにしていきたいです。

(山口 あやめ)



課題研究発表会

1月19日(木)・20日(金)の2日間にわたり3年生の課題研究発表会を実施しました。「課題研究」は農業に関する課題を自ら設定し、その課題の解決を図ること

で、農業に関する知識や技術を深めることを目的とした科目です。3年生が1年間、専門学習に取り組んだ総括であり、今回はその取り組みんだ研究についてまとめ、グループごとに発表を行いました。この課題研究発表会に1・2年生も出席し、来年度・再来年度に自分たちが課題研究を行うための参考にしました。

今年度は農業経営科12班、生物工学科13班、生活科7班の発表がありました。以下におもな発表テーマを掲載します。



〔農業経営科〕

養母スイカの復活プロジェクト活動〜最終報告〜

シクラメン3号ポット苗の保存方法

摘果サワーポメロを使った商品開発

『サワーポメロ』の産地復活更新せんで問題解決

〔生物工学科〕

「かごしま黒豚」の優良種豚造成を目指して

ヨード注入による

受胎率向上に関する研究

サツマイモ苗増殖のための水耕栽培装置の製作

〔生活科〕

子どもの野菜の印象を変えよう!!

Edible Flower

コガネセンガンを広めよう!!

職員コラム

大学時代通った図書館での光景である。建物を挟んで樺(ケヤキ)が植えてあった。前庭の樺は日当たりがよい

ためか大きかった。一方中庭の樺は建物に一日中、日光が遮られているためか、前庭のものとは比べるとはるかに小振りであった。植えられたときには、どちらも同じような大きさの樺だったのだから、成長ぶりは違っていた。大きい樺は若葉が、一方、小振りの樺は紅葉が実に美しくかった。皆、一様ではなかった。大きかろうが小さかろうが自分の置かれた状況の中で懸命に生きていく姿には、それぞれの美しさがある。今から四十年前も前のことであるが、その光景は今でも鮮明に思い起こされる。将来、生徒諸君の生きる道はそれぞれ異なるが、自分の生き様への自信を実践の場面で示すことができる様、日々研鑽を積んで欲しい。三年生は、いよいよ高校での生活を終える。別れは寂しいことに違いない。だが、決して悲しむべきことではない。新たな旅立ちを始めることを考えれば、むしろ喜ばしいことだ。学業にも仕事にも大いに楽しみを見出し向かい合い、自分にしかない美しさを醸し出してくれることを願っている。

一・二年生は残された高校生活をどのように過ごすかで人生の基盤が形成される。高校三年間を通して勉強や部活動等何でもよい、これだけはやり遂げたという達成感を持つことが大切だ。また、学習面や人間関係等で壁にぶつかることはよくある。その時に現実から逃げたらいけない前向きな姿勢で一つ一つの壁を乗り越えて行く逞しさが欲しい。時には挫折することもあろう。困難や挫折は、克服する努力をするとき、人を成長させる。一人の力で解決できない時は周囲に助けを求め、困ることを忘れない。良き師、良き友との出会いは一生涯の宝となる。(常秀樹)

2月のおもな学校行事

- 1日(水) 教育相談(～10日)
- 3日(金) 2学年視察研修
- 4日(土) 秘書検定
- 6日(月) 推薦入学者選抜
- 7日(火) 文字力テスト⑩
- 13日(月) 3学年登校日、営農の門出を励ます会
- 17日(金) 第4回PTA理事会(拡大)
- 19日(日) 第3回実用英語技能検定(2次)
- 20日(月) 3学年登校日
- 21日(火) 学年末考査(～24日)
- 24日(金) 卒寮式
- 27日(月) 3学年登校日
- 28日(火) 同窓会入会式、卒業式予行

農芸市場

2月 火曜日 販売時間; 14:00～15:00

販売予定品目

<卵>

- Mサイズ・・・200円
- Lサイズ・・・220円
- 2Lサイズ・・・230円

<果樹>

- サワーポメロ・・・300円/kg

☆駐車場の開場は13時となっています。

生徒や職員への開場依頼はご遠慮ください。

☆3月の農芸市場は、学校行事の関係により閉場になります。

<加工品>

- 黒豚味噌、ちりめん味噌・・・250円
- 麦味噌・・・350円
- サワーポメロ砂糖漬け・・・100円
- とろりプリン・・・150円
- シフォンケーキ・・・600円